

# 東北新報

本紙は毎月二十日発行され、毎週一紙、毎季三紙、毎年十二紙発行される。印刷所は仙台市本町一丁目、電話二二二二番。代印所は仙台市本町一丁目、電話二二二二番。印刷部は仙台市本町一丁目、電話二二二二番。

### 社説

小名濱商港問題は遂に地方人心を悪化せしむるに至つたことは甚だ遺憾千萬である。小野晋平氏が多年苦心したことは人が認めてゐる私財をなげうつて戦つたことも世は知つてゐる。政友會本部の重鎮たる縣會議員鈴木辰三郎氏等の活躍も政治的には進路を開拓したのである。之等の有力家連中は、人には知られぬ苦心と闘争力を以つて獲得したものが、小名濱町の新進路の開闢であつた。

たばかりでなく、眼中に存在がなかつたといふ結果が生ずるに至つた。始めからなかつた面目玉が、こゝに到つてゼロに非ずして、ナッシングとなつたのである。小名濱と平町とは経済的にも交錯状態におかれてゐるのである。

現在も、將來も共に横濱港と大東京との關係に結ばれてゐる小名、平町が緊縮政策に崇られてから悲惨なる現實を招來するであらうことは、川向ふの火災を見るよりも明白な事實である問題は小名濱一町の問題に非ずして實は平町にも半面の責任

を負擔しなければならぬ石城郡中が、各種事業のくり延べ、停止等により物議騒然たるを、小名濱町の民政黨が、我黨内閣の祝賀會を催して亂舞したと聞く、彼等がその精神的傾向に於て既に自治体の破壊者である。民政黨内閣になつたからとて、乞食が馬を貰つたやうな馬鹿騒ぎをやるとは實に憐れむべきことである。彼等も反省して擧町一致してこの暴戻に反対せよ

## 嫁に加勢した實父を絞め殺す 醜關係あるものと誤解し 加害者遂に逮捕收容

### 双葉大堀村の慘事

【双葉特信】 双葉郡大堀村妻某と共に生家、歸り些細點多く放火ではないかと、大字津田五農山本利八（六〇）の事から夫婦喧嘩を始めた云はれ目下富岡署で調査中六〇は去る六日夜急死したの父の利八が妻女某に加で損害は約一千圓なりと腦充血の死体検案書を 嫉妬心の深い男なので 父と妻とが醜關係で がその死因につき奇怪なる もあるかの如くに誤解し激 風評が傳はつてゐたので十 三日平區裁判所より武田檢 察官に中谷豫審判事が突 如浪江署に急行し死体を發 掘し解剖に附したところ絞 殺されたこと跡があるの 容疑者として浪江町居住の 利八二男亨（二八）を引致し 取調へ、の結果右絞殺 した事實を自白したので直 ちに豫審に附し十四日平刑 務所に收容した原因は六日 發火の原因に就ては奇怪の

前經營者である池田某が議士の案を賛成し十六日か藥品評會は十七日より三日外一湮の沖合に投べやう今間各町村毎に開催する筈十六日より點呼を執行したが一般參觀人等で同町は非常な雑踏を極めてゐる

【平穀物検査所發表】中央市場の影響をうけた石城地方の米相場は今日一日頃より二十錢三十錢と大暴落をたごつて来たか現在では一駄で（四等米）一圓五十錢安の二十一圓五十錢迄に下落した。これが爲一般商人並に農家は持米をドシドシ市場へ送る氣配が充分あるので思惑買ひの商人等の爲めに未だ下値に至るものと見られてゐる

### 更生の爲めに 懇談會

今日午後一時より 四ツ倉銀行樓上に開催

### 中央市場の影響で 石城米ドン／＼下落

今後も底知れずの暴落？ 農民頗る窮境に陥る

### 五十鈴來港

小名濱沖合に 茨城、福島二縣下の艦上簡 閱點呼の爲め愈々巡洋艦五 十鈴は昨十五日夕小名濱港

### 小使至急募集

年齢學歷を問はず 確實なる保證ある者 一名至急募集す 平町三丁目 七十七銀行平支店

### 故郷に 珍無類の「預り證」

昭和の御代に又こない 七ヶ年間御預け申候

### 七ヶ年 立てば妻も元

古巢齋藤のもとに歸ると云ふいと珍妙な約束書を取りかはし一件落着したが妻の預り證は振つた證書であると評判されてゐる

### 小使至急募集

年齢學歷を問はず 確實なる保證ある者 一名至急募集す 平町三丁目 七十七銀行平支店

### 小使至急募集

年齢學歷を問はず 確實なる保證ある者 一名至急募集す 平町三丁目 七十七銀行平支店

